



進路指導部主任より



家庭学習期間、分散登校期間と経てようやく1,2年生は短縮6時間ではあるものの、通常登校が再開しました。6月に自宅受験したスタディーサポート(以下スタサポ)が先日、返却されましたが1年生は中学校での学習状況と、4,5月の家庭学習の結果や習慣、そして2年生は1年生の学習内容と習慣が反映されたものとなります。また、3年生はオンライン授業の継続と3回にわたる確認試験が行われてきましたがこの間、普通コースは日大チャレンジマーク模試、特進と一般受験クラスはベネッセの6月共通テスト模試、7月記述模試を受験してきました。

ここに挙げたテストは受けることだけが目的なのではなく、それ以上に大切な点は、結果を基に自分の弱点を知り修正し、いかに次のテストに活かすかことができるか、という点です。1,2年生は9月7日のスタサポ、3年生は9月4日の基礎学力到達度テスト対策模試に向けて、十分に振り返り、解き直しをして成績向上に繋げていってほしいと思います。



3年生向け①夏休みを有効活用せよ！

総合型選抜・学校推薦型選抜に向けて…夏休みにできること。

1. 入試要項をすみずみまでチェックして、担任に相談する！

⇒ 出願資格や入試スケジュール等を把握し、何をすべきかを明確にする。

2. 志望大学の「オープンキャンパス」や「進学相談会」に参加する！

⇒ アドミッションポリシーや学部学科で学べることを入念にチェックする。

3. 「志望理由書」を書く！面接の準備をする！

⇒ 何度も書くことで自分の志望理由が明確になり、面接にもつながれる。

1. 入試要項を見る際のポイントは？

★昨年度の入試結果の倍率が低いなら狙い目！しっかり準備をすればチャンスに！

◆出願資格…学習成績の状況（旧評定平均値）、検定試験のスコアの有無（英検・TEAPなど、証明書が手元にあるか？）、必要書類（調査書・推薦書・自己アピール書など）、出願期間、入試日程（試験日・合格発表日）、手続き締切日などを確認！

→「調査書」「推薦書」は担任が作成するものです。受験を少しでも考えているなら、すぐに担任に相談しましょう。

→手続きの締切に入学金の納入などが終わらないと、合格は取り消されてしまいます！

2. オープンキャンパスや進学相談会のポイントは？

◆全体説明会…その大学の特長・強みは何か、自分が学びたい分野の学科はあるか、どのような入試方法が実施されるか、就職実績について具体的な説明があったかチェック！

◆進学（入試）説明会…希望する学科の入試科目は何か、どんな種類の入試（一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜など）が実施されるのか、入試の種類ごとの傾向と対策を入手！

★今年度は入試変更点が多くなります。一般選抜志望者も見落とさないように！

3. 志望理由書・面接のポイントは？

◆志望理由書…入学を志望する動機、入学を志望する意志、卒業後の展望をしっかりアピール！
そのためにも、「自分を知る」「学校を知る」姿勢をもちましょう。

【参考】スタディサプリ ⇒「大学受験対策」→「AO・推薦対策」
マイナビ進学 ⇒<https://shingaku.mynavi.jp/cnt/etc/column/step6/essay/>
進路ナビ ⇒<https://shinronavi.com/newcolumn/motive/03/>

◆面接…個人面接、集団面接、グループ討論など、まずは志望校の面接タイプを確認！どのタイプでももっとも重要なのが事前準備。志望動機を明確にすることはもちろん、志望校の学びや、目指す専門分野に関する知識や情報量を増やしておきましょう。

→面接官は「学びたいテーマが明確でしっかり目的意識を持ち、入学後に実力を発揮できる学生を入学させたい」と考えています。また、相手の話を聞き、筋道立てて自分の意見を話すコミュニケーション能力も重要なポイント。身だしなみやマナー、言葉遣い、高校生としての教養がきちんと身についているかもチェックされます。



面接練習にオススメの WEB サイト等の紹介！

○ スタディサプリ進路

<https://shingakunet.com/rnet/column/mensetsu>

https://www.youtube.com/watch?v=hn6dd_1T130&t=149s

必見!!

○ 進路ナビ

<https://shinronavi.com/newcolumn/manners>

○ マイナビ進学

<https://shingaku.mynavi.jp/cnt/etc/column/step6/interview/>

○ マナビジョン

<https://manabi.benesse.ne.jp/plus/exam/exam013/index.html>



3年生向け②夏を制する者は…！



到達度テスト・一般選抜に向けて…夏休みにできること。

—生活・メンタル面の意識で、「伸びる受験生」になる！—

「伸びる受験生」とは？ 1. 生活リズムが安定している。

夏に限らず、成績が伸びる受験生は生活リズムが安定していることがあげられます。

勉強時間はもちろんですが、睡眠・食事の時間やリフレッシュの時間も含めて計画的に過ごしましょう。

「伸びる受験生」とは？ 2. 学習の中身を目標に設定している。

「毎日〇〇時間勉強する」のように“学習量”を目標にせず、「何を理解するか」「何をやり遂げるか」のような“学習の質”を大切にし、それを目標にしましょう。



注意

伸びない受験生の特徴

- 模試の判定に悩み、弱気になる
- ながら勉強に頼りすぎる
- 勉強時間が不安定



1, 2年生向け 9月のスタサポまでに苦手を克服！

6月に受験したスタサポの結果をふりかえって、自分の弱点の克服をするためにも、夏休みにしっかり復習をしましょう。正答率の低かった分野を1, 2年生のコース別にまとめました。先生方からの学習アドバイスもいただいたので、ぜひこの夏の課題として各自が取り組んでください。

《1年生》

国語の正答率が低かった分野		全国平均	普通コース平均	特進コース平均
現代文評論読解	本文の全体主旨の把握	49.7	50.1	62.9
現代文小説読解	心情表現の発見と理解	39.1	43.8	51.4
古文知識	古語の読み	34.1	47.4	51.4
古文読解	場面の把握	33.2	30.5	37.1
	文脈の把握	37.2	41.1	66.7
	全体の内容把握	27.3	31.0	48.6
数学の正答率が低かった分野		全国平均	普通コース平均	特進コース平均
方程式	公式利用	24.4	51.2	75.2
図形	公式利用	28.8	50.0	67.6
関数	応用力	27.2	50.7	70.0
図形	応用力	24.1	40.7	52.1
英語の正答率が低かった分野		全国平均	普通コース平均	特進コース平均
文法	受け身・分詞	42.2	54.1	72.6
読解	未知語の類推	40.9	44.3	62.9
	接続語句補充	28.3	49.4	88.6
リスニング	場面や状況の理解	45.0	49.7	72.9
	話者の応答	27.8	40.8	71.4
	主旨理解	43.9	59.4	62.9



【よくできていた分野】

- ◎国語…現代文評論読解「要旨の把握」、現代文小説読解「心情の把握」・「人物像とシチュエーション」、古文知識「仮名遣いと音読」
- ◎数学…公式利用「数と式」・「関数」・「資料の活用」、公式理解「方程式」・「関数」・「図形」・「確率」・「資料の活用」
- ◎英語…語彙「基本単語の用法」、文法「動詞の時制」・「助動詞」・「不定詞」・「動名詞」、読解「文章の展開予測」・「指示語の理解」、リスニング「5W1Hの理解」

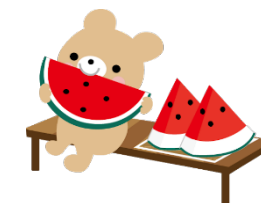
【2年生】

国語の正答率が低かった分野		全国平均	普通コース平均	特進コース平均
現代文評論読解	要旨の把握	31.8	36.6	55.6
現代文小説読解	場面転換と心情の変化	34.6	47.8	44.4
古文知識	助動詞の知識	40.9	48.0	59.7
	単語の知識	35.8	45.3	55.0
古文読解	文脈の把握	26.8	31.8	25.0
	和歌の解釈	26.2	30.5	38.9
	全体の内容把握	32.2	38.9	47.2
漢文知識	訓読のルール	38.5	44.1	56.5
	基本句形	44.2	47.4	69.0
	語彙の知識	32.8	37.8	50.0
	漢詩の知識	37.3	24.2	25.0
漢文読解	句法・重要語の発見	42.1	45.5	55.6
数学の正答率が低かった分野		全国平均	普通コース平均	特進コース平均
2次関数	公式利用	13.7	44.1	50.0
	応用力	17.2	30.3	41.0
データの分析	公式利用	40.9	56.3	50.0
場合の数と確率	公式利用	29.2	36.6	44.4
図形と計量	応用力	14.8	22.7	31.3
英語の正答率が低かった分野		全国平均	普通コース平均	特進コース平均
文法	文型	38.0	46.7	49.4
読解	代名詞	37.7	47.0	66.1
	未知語の類推	36.0	37.9	63.9
	接続語句補充	31.3	38.4	33.3
	内容把握	33.7	40.2	48.6
	主旨理解	36.5	40.5	50.0
リスニング	音声の性格な聞き取り	39.9	41.3	52.8
	主旨理解	34.5	38.7	41.7

【よくできていた分野】

- ◎国語…現代文知識「評論読解に必要な知識」・「小説読解に必要な知識」, 現代文評論読解「本文の全体主旨の把握」
- ◎数学…公式理解「数と式」・「2次関数」・「図形の性質」, 公式利用「データの分析」・「整数の性質」
- ◎英語…語彙「基本単語の用法」, 文法「関係代名詞・関係副詞」, リスニング「話者の応答」

夏休み中の学習アドバイス



古文の学習法 1年副担任 徳田あゆみ先生より



- (1) **古文単語・古典文法の基礎**を固める。
- (2) 古文・漢文の**参考書やワークで読解法**を学ぶ。
- (3) **1学期に取り扱った教材を復習**する。

さらに、問題集を用いて、読解法を意識しつつ取り組む。

インプットされた知識が正しくアウトプットできるかを確認する。

問題集に取り組み、自分の不足知識に気づき、読めない・解けない課題を潰していく。

※(1)～(3)の学習法をループする。

数学の学習法 2年A組担任 大館亮春先生より

みなさん、数学を勉強するときどのような勉強方法をイメージしますか。

問題集を解いたり、授業の復習をしたり様々な勉強方法があると思います。

今回みなさんに紹介するのは、「**教科書を読む**」という勉強方法です。今までたくさんの公式や定理を習ってきたと思います。それらを覚

えることや、最低限の使い方ができれば定期試験や授業内のテストで点数を取ることができます。

一方で、証明したり、説明したりすることができなければ模試などの応用が問われる問題を解くことが難しくなります。**数学の本質を理解するための最も効率の良い勉強方法は教科書の公式や説明などを読むこと**だと私は考えています。おそらく数学の教科書を読み物として読んだことはないのではないのでしょうか。一度習った分野であればみなさんが思っているよりも読みやすく進めることができると思います。ぜひ読んでみてください。よい夏を。



英語の学習法 2年K組担任 高間大輔先生より

英語において、「**一つのパラグラフで述べられることは一つだけ**」という原則があります。さらに、そのパラグラフの主張、つまり言いたいことは、同パラグラフ内で表現を変えて、何回も繰り返されます。

復習する際には、「**このパラグラフで言いたいことは、これ**」と、**自分でパラグラフのまとめを作成してみる**とよいと思います。そのパラグラフのまとめは、簡単でかまいません。そしてそのパラグラフで言いたいことが、どのような表現に言い換えられて繰り返されているかに着目することで、次に自分で英文を読む際のトレーニングにもなると思います。



しげまるの学問探究 vol.3

「日本大学理工学部」では何を学ぶ？

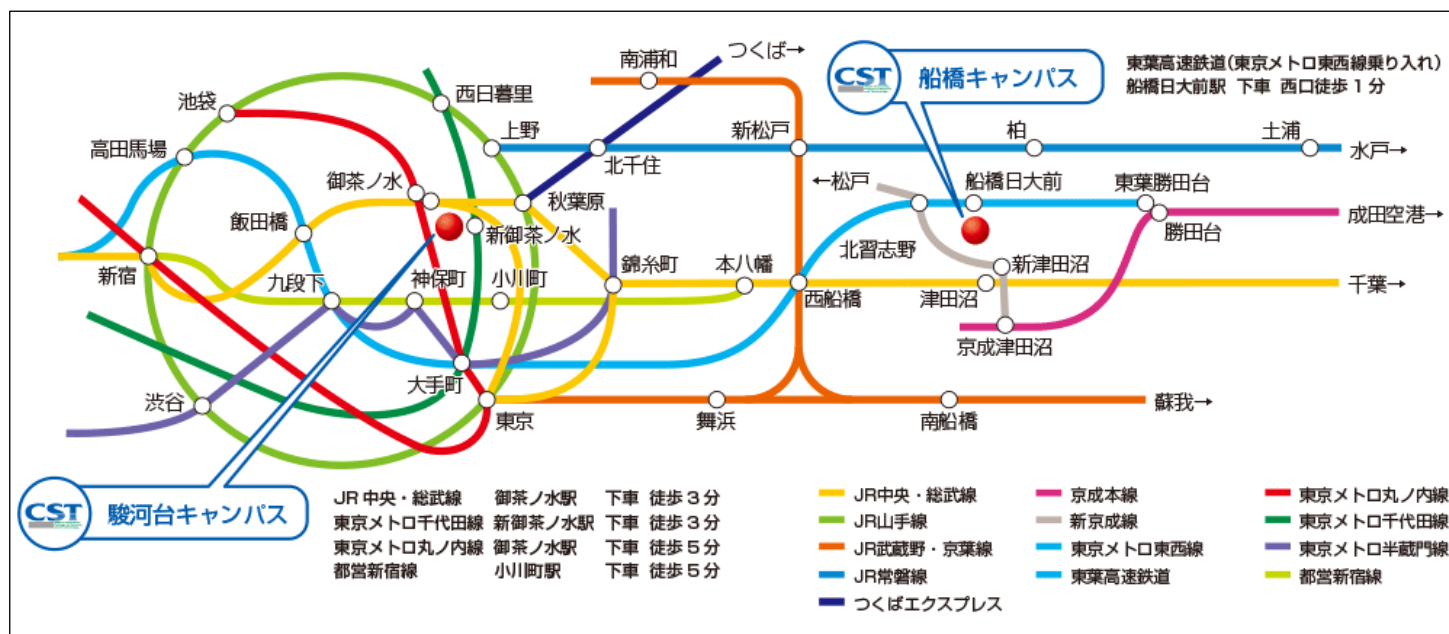
第4号で特集する理工学部は、鶴高の理系生徒に人気の学部です。歴史が古く、高度な研究がおこなわれている理工学部について、その魅力を紐解いていきます。



Q1 どこにあるの？

A1 東京都千代田区の「駿河台キャンパス」と千葉県船橋市の「船橋キャンパス」があります。

駿河台キャンパスは「学生の街」にある都心型キャンパス、船橋キャンパスは研究施設が充実した郊外型キャンパスとなっています。



Q2 何が学べるの？

A2 「CST×DREAM*」教育の実践を目指しています。

*STEAM教育(科学・技術・工学・芸術・数学を通して科学技術および経済分野での国際競争力を維持、発展させる)に加え、デザインを通して「もの」を具現化する力を涵養する学部という造語。

土木工学科・交通システム工学科・建築学科・海洋建築工学科・まちづくり工学科・機械工学科・精密機械工学科・航空宇宙工学科・電気工学科・電子工学科・応用情報工学科・物質応用化学科・物理学科・数学科の14学科を有しています。

理工学部の
ここがスゴイ! ①

多彩な就職支援プログラムで就職率 **99.4%**!!

製造業・建設業・情報サービス業を中心とした幅広い求人依頼があり、学生の大部分が希望の就職先に就いています。

理工学部の
ここがスゴイ! ②

鳥人間コンテストディスタンス部門歴代 **3位**!!

船橋キャンパスの文化系サークル航空研究会は、鳥人間コンテストの常連。優勝を目指し活動しています。「空飛ぶ乗り物をゼロから作ってみたい!」「鳥のように空を飛んでみたい!」を実現させているサークルです。

Q3 卒業生の声が聞きたい!

A3 2018年度鶴高卒、男子ソフトテニス部に所属していた、現在、日本大学理工学部建築学科4年生の金子瞭くんに聞きました! (建築関係の企業から内定をいただいています!)

理工学部は、郊外の広大な敷地を活かした大規模な実験と都会のキャンパスライフを両方楽しめるのが最大の魅力です!

私が所属している建築学科では、建物のデザインだけでなく音や光といった環境に関することも勉強できるので、コンサート会場や美術館についての見識も上げられます。また、都内には沢山の有名な建物があり、授業で扱った作品を学校帰りに見に行くなんてこともできるので、ただ勉強するだけでなく自分で経験できるのは、なかなかできないことだと感じます。

Q4 関係の深い先生の声が聞きたい!

A4 3年F組担任、数学担当で、サッカー一部顧問の谷幸一朗先生に聞きました!

私が日本大学理工学部数学科を志望した理由は、教師になるためです。高校時代部活ばかりしていたので、大学では学ぶことを第一に考えていました。理工学部数学科には、志の高い仲間が多く、友人にはのちに大学・高校で教鞭をとるものが多く在籍していました。1年次は船橋校舎と若干遠方ですが、学習を第一に考えていた私には、誘惑のない抜群の環境でした。4年生の頃には代数学を研究しており、論理的に話をする基盤を作ることが出来ました。数学の本質と、論理的な思考力を伸ばしたい、志の高い仲間とともに学習したい者!是非理工学部数学科をお薦め致します。

今回の「しげまるの学問探究」では、日本大学経済学部にもフィーチャーします!